



第34号  
平成30年 9月20日  
発行 宮城県多賀城  
高等学校同窓会  
翔朋会

# 露往霜来

翔朋会会長  
及川佳洋



会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

光陰矢のごとしといいますが、改めて思えば一人生は今年五十八歳、卒業してから四十年が過ぎたということになります。

この間多くの喜びや悲しみ、苦しみを乗り越えて、今尚各方面において活躍されていることに心から敬意を表します。

多賀城高校は今年、震災後に新設された災害科学科が三学年揃い、大講義室の新設など、新たにそしてさらなる発展を遂げるべく、全校一丸となつて奮闘中です。

会議などで学校を訪れると元氣な生徒たちが大きな声で挨拶をしてくれます。楽しそ

うな歓談の様子、ひたむきな部活動の練習を目の当たりにすると、昔日の思い出が頭に浮かびます。

少年老い易く学成り難し

一寸の光陰軽んずべからず

いまだ覚めず池塘春草の夢

未覚池塘春草夢

階前の梧葉已に秋声

若いころに習った七言絶句

ですが、齢六十を前にして、今この漢詩が初めて理解できたような気がします。

あつという間の四十年でありました。

思えば無駄に過ごしてきたことも大変に多くあつたように思います。

思い返すと反省することはあまりです。

四十年前は私も皆さんも間

## 題字紹介

「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

違ひなくあの屈託のない笑顔とさわやかな元氣さ、一途でひたむきな一人の若者でありました。  
同窓会はその時その場所にいたという証であります。過ぎ去った時を元に戻すことはできませんが、共通の話題であのころのように屈託なく話せる仲間がそこにはいると信じています。

## 翔朋会役員(案)

- 会長 及川 佳洋 1回生
- 副会長 丸山 隆 1回生
- 副会長 石橋 和雄 2回生
- 副会長 瀬戸口真弓 4回生
- 監事 高橋 和人 5回生
- 監事 武田 三弘 8回生
- 監事 梅津 英久 2回生
- 会計 熊澤 啓子 事務室長
- 書記 針生美由紀 4回生
- 書記 横山 卓哉 8回生
- 幹事 大内 昭浩 4回生
- 幹事 菊地 紀栄 6回生
- 幹事 千坂 成也 7回生
- 幹事 磯 比呂志 8回生
- 幹事 本郷 和重 8回生
- 幹事 佐藤 隆久 11回生
- 幹事 植杉 淳一 15回生

## 第40回 翔朋会総会のご案内

日時 平成30年10月13日(土)  
総会 18:00~18:30  
懇談会 18:30~20:30  
会場 ホテル・キャッスルプラザ多賀城  
会費 4,000円(当日会場で徴収致します。)  
※ただし、37~40回生(H27~H30年3月卒業生)は1,000円です。

○同封のFAX用紙もしくはメール(アドレスはFAX用紙に記載)で10/12(金)までにお申し込み下さい。準備の都合がございますのでなるべく早めの連絡をお待ちしております。

○今年度の幹事回生は、以下の4つの回生の方々です。同期の方をお誘いの上、ご参加ください。(下記以外の回生の方もご参加いただけます。)  
10回生(S63年3月卒業)  
20回生(H10年3月卒業)  
30回生(H20年3月卒業)  
40回生(H30年3月卒業)

## 事務局からのお知らせ

- ・年会費二〇〇〇円の納入にご協力ください。翔朋会の運営を充実させるため、母校の発展のために使わせていただきます。
- ・平成28年度より同窓会のHPを開設致しましたので、ぜひご覧ください。
- ・HP開設に伴い、紙による会報の郵送を止め、HP掲載に変更致しました。予算削減、情報発信の迅速化のためです。ご理解とご

- 幹事 見立屋雅子 26回生
- 参与 佐々木克敬 校長
- 参与 菊田 英孝 教頭
- 参与 阿部 浩二 教頭
- 事務局長 永沼 幹子 総務部長
- 事務局長 和泉 俊宏 総務部長
- 事務局長 渡邊 浩一 総務部
- 事務局 千葉 智仁 同窓職員30回生

協力をお願い致します。なお、年会費を納入していただいた方には、紙による会報を従来どおり送付致します。卒業後の住所変更等は随時受け付けております。お名前や卒業年度(回生)、変更後の住所をご記入の上、FAXやメールにて事務局へご連絡下さい。

事務局の連絡先は  
TEL0222-3666-1255  
FAX0222-3666-1226  
Mail: tagajo-hs@od.myswan.ed.jp  
になります。

## ◎今年の進路状況

40回生(平成29年度卒業生)277人中

国公立大学・大専校	44
私立大学	172
国公立短期大学	0
私立短期大学	11
専修(各種)学校・その他	24
公務員	5
就職	0
受験準備	21
合計	277

# 何が できるようになるか

校長 佐々木克敬



同窓生の皆さまにおかれましては、益々ご活躍のことと存じます。また、日頃から母校に対し多くのご支援を頂戴しておりますことに心から感謝申し上げます。お陰さまで、在校生は学習活動や部活動、学校行事等に生き生きと取り組む、大きな成果を上げております。今年度の進路実績や、高校総体等の成績については、会報の詳細を御覧ください。

本年度は災害科学科3学年が揃う完成年度となります。災害科学科の生徒はいづれも志高く入学してきた生徒であり、将来の活躍が期待される場所です。普通科を含め本校生徒には他の学校にはない多くの学習機会があります。塩竈市浦戸諸島での野外実習、つくば学園都市での先端科学技術に触れる実習、北海道有珠山における火山実習、北海道釧路湿原における生物実習などの自然科学分野や、防災・減災活動を発表する機会としては世界防災フォーラムや世界津波サミットのような国際

会議から防災甲子園のようなコンテストまで実に様々です。また、国際理解学習としては昨年度、今年度とシカゴのレインテック高校との交換ホームステイを実施したり、JICA研修員の受け入れなども行っています。

これまでの学校での学習は知識・技能の習得に始まり、それを用いて思考・判断するというところに重きが置かれてきました。しかし社会の複雑化、加速度的な変化、グローバル化が進み、知識自体も細分化、詳細化が進んでいます。スマホ1つあれば様々な情報が手に入る時代に、知識を詰め込むことよりも、知識をどのようにに組み合わせるのか、どのようにに組み合わせて使うのか、次期学習指導要領に沿えば「何が求められるようになったのか」が求められる時代です。

多賀城高校は現在パイロットスクールとして、様々な取組を行っています。これまでのユネスコスクールに加え、今年度からは全国で200校あまりのスーパーサイエンスハイスクール(SH)にも指定されました。またOEC D-Iイノベーションスクールネットワークとして課題解決学習にも取り組んでいます。これらはいずれも社会から期待される主体的に課題を見つけて行動する人材の育成につながるものです。このような学校で学ぶ後輩たちに、これからも一層の御支援と御声援をいただければ幸いです。

## 教育実習

平成30年6月下旬より三名の同窓生による前期教育実習が行われました。後期にも10月より3名の同窓生による教育実習が実施される予定となっております。

## 教育実習を終えて

37回生 遠藤 柚賀

教育実習は私にとって将来の夢へとつながる良い体験となりました。この四週間は保健室に来室する生徒にどのようなに寄り添いどのような保健指導を交えた対応をするか、クラスでは限られた時間でいかに信頼関係を築けるか、分かりやすい授業をするか、どのように工夫するか等、気づけば常に生徒のことばかり考えていました。嬉しいことと同時に、くらくら悩んだこともありましたが先生方のご指導により、貴重な経験となりました。養護教諭になれるよう教員採用試験を頑張りたいと思います。

## 東北大会を終えて

弓道部三年 石井 彩弥

私は高校生活最後の県総体で女子個人3位に入賞し、東北大会に出場することができました。

2年生の夏以降、練習では5/6割の中が出せるようになっていきましたが、試合ではその力が出せないというところが続いていました。何度も悔しい思いをしたため、メンタル面の強化に努め、常に試合を意識して練習に取り組んだ結果、県総体では緊張した中でも冷静に弓を引くことが

でき、今までの努力が報われた気がしました。各県の入賞者が出場する東北大会では、予想以上に緊張してしまい、気持ちに乱れが生じて、いつもの自分の射ができず、悔しさが残る結果となっていました。ですが、このような貴重な経験ができた事をいつまでも誇りに思っています。

水泳部二年 千坂 遼南

私は、7月20日から7月22日に山形県で行われた高校総体の東北大会に出場してきました。県大会での反省を生かし、東北大会では悔いが残らないようなレースをして、今年度の高校総体を締めくくったという思いで挑みましたが、目標としていたタイムにも順位にも届かず、悔いと反省しか残らない結果となりました。

今年の高校総体では、自分の弱さがレースにはっきりと見えたと思っています。一本勝負という場面で、今まで取り組んできた日々の練習を信じて思いきり突っ込んだレースをすることができませんでした。なので、新人戦、来年度の最後の高校総体まで、目標を強く意識しつづけながら、練習でレース前に不安や焦りを感じないくらいの自信をつけて、大会では涙を一粒も流さないと心に決めて頑張ろうと思います。

## 東海インターハイを終えて

山岳部三年 柴崎 千寛

系で計五日間に渡って行われましたインターハイに男女両チームで出場してきました。結果は、男子は四十五チーム中二十一位、女子は四十七チーム中二十九位でした。この大会に出場するにあたってご尽力くださいました顧問の先生方、応援してくださいましたご家族の方や同級生などの関係者の方に感謝申し上げます。

さて、この大会期間中、会場では気温が四十度近くまで上がるという事態になり、熱中症対策ということでコースが変更になりました。そのような過酷な状況下でも、私たちは全力を出し切ることができました。また、他県の方々と交流することもでき、普段の取り組みなどの情報交換もできました。

反省点も多々ありましたが、ここで得たことを後輩にしかと伝え、次は入賞目指して頑張ってください。

## 2018信州総文祭を終えて

軽音楽部三年 戸村 仁美

私たちが「Windom Crew」は八月十一日に長野県で行われた信州総文祭に出場してきました。今回演奏した「狂騒」は私たちのオリジナル曲の中でも一番思い入れがあり、この日のために日々練習を重ねてきました。総文祭で私たちは賞を取ることはできませんでしたが、曲のイメージを伝えられるよう精一杯努力することができました。また、全国の高校生バンドの演奏を聴くことができ、自分たちには

ないものや、新たな発想、問題点を見つけることができませんでした。私たち三年生はもうすぐで引退ですが、今回学んだことを後輩達に伝えられるよう、残りの部活にも精一杯取り組みたいと思います。

吹奏楽部三年 茂木さくら  
8月9日、10日の二日間、信州総文2018に参加させて頂いていただきました。信州総文は、昨年10月に県代表として出場が決まったときから、ずっと楽しみに待っていました。前日の交流会は、全国の高校生の皆さんとクイズなどを通して、とても楽しい雰囲気できました。また、同じ吹奏楽仲間として共通することや違うことを知れたり、県内にとどまっていた視野が一気に広がり、全国にはたくさん仲間がいて同じように頑張っているんだということを改めて感じる事ができました。

当日の演奏曲は「交響曲(矢代秋雄)」「September(Earth, Wind&Fire)」の二曲でしたが、なにより、私たちの十八番である、「September」の演奏、また、その曲中にある振り付けを会場の皆さんと一緒にできたことを大変嬉しく思います。全国の方々が集まる場での演奏は緊張しましたが、2曲通して、感動や楽しさを十分に伝えられたと感じました。これからも全国高等学校総合文化祭で吹奏楽を盛り上げていってほしいと感じました。

# 2018 県高校総体結果

## ◆硬式テニス

- (男子)  
団体  
1 回戦 VS 名取北 ②対1  
2 回戦敗退 VS 東北学院 ①対3  
3 回戦敗退 VS 学院榴ヶ岡 ①対2

## ◆卓球

- (男子)  
団体  
2 回戦 VS 巨理 ③対2  
3 回戦敗退 VS 聖和 ①対3  
\*ベスト16

## ◆ソフトテニス

- (男子)  
団体  
2 回戦敗退 VS 佐沼 ①対2  
3 回戦敗退 VS 柴田農林 ②対1  
VS 東北 ①対2

## ◆バレーボール

- (男子)  
1 回戦敗退 VS 加美農業 ①対2  
2 回戦敗退 VS 仙台育英 ①対2

## ◆バスケットボール

- (男子)  
1 回戦 VS 一迫商業 ⑦対63  
2 回戦敗退 VS 古川学園 ④対94  
(女子)  
1 回戦 VS 松山 ④対50  
2 回戦敗退 VS 仙台一 ③対70

## ◆ソフトボール

- 2 回戦敗退  
VS 宮城広瀬・尚綱合同チーム ①対6

## ◆柔道

- (男子)  
団体  
予選リーグ VS 登米総合 ①対4  
VS 名取北 ③対2  
決勝トーナメント  
1 回戦 VS 追桜 ①対3  
個人  
81kg級 阿部政弥 ベスト16  
(女子)  
予選リーグ敗退 VS 柴田 ①対3  
VS 古川工業 ②対1  
①対3

## ◆弓道

- (男子)  
団体 第3位 決勝進出  
個人 佐藤拓都  
(女子)  
団体 ベスト16  
個人 石井彩弥 第3位  
\*東北大会出場

## ◆バドミントン

- (男子)  
団体  
1 回戦 VS 明成 ③対1  
2 回戦敗退 VS 学院榴ヶ岡 ①対3

## ◆ラグビー

- 1 回戦  
VS 気仙沼沼向洋・佐沼合同チーム  
準々決勝敗退 VS 仙台工業 ③対12  
5、7位決定戦 VS 仙台一 ④対33  
\*ベスト8

## ◆剣道部

- (男子)  
団体  
予選リーグ敗退 VS 宮城第一 ②対3  
VS 利府 ①対5

## ◆山岳部

- (男子)  
優勝  
\*インターハイ(東海総体) 出場  
(女子)  
優勝  
\*インターハイ(東海総体) 出場

## ◆陸上部

- (男子)  
5000M 間宮龍晟 決勝進出  
八種競技 船木武郎 8位  
(女子)  
4000Mハードル 櫻井祐花 準決勝進出

## ◆水泳部

- (女子)  
100M背泳ぎ 千坂遥南 第6位  
200M背泳ぎ 千坂遥南 第4位  
\*東北大会出場

# 今年度の異動

- ★転出者  
佐藤 彰彦 教頭 加美農業高等学校  
小野 敬弘 齋藤 田尻さくら高等学校 教頭  
佐竹 明浩 教諭 宮城野高等学校  
池田 実 教諭 泉松陵高等学校  
馬目 弘泰 教諭 仙台第二高等学校  
佐藤 徳顕 教諭 仙台第二高等学校  
國府 正之 教諭 黒川高等学校  
岡元 昭典 教諭 光明支援学校  
石垣 怜美 主事 石巻市立万石浦小学校  
榎戸 彰香 非常勤講師  
安齋 好美 非常勤講師  
佐藤 壮 緊急学校支援員  
佐藤 敦 パート職員
- ★昇任者  
原田 実 主幹教諭 教諭
- ★転入者  
阿部 浩二 教頭 泉高等学校  
伊東 俊英 教諭 小牛田農林高等学校  
高橋 久美 教諭 石巻高等学校  
幸野 久嗣 教諭 石巻西高等学校  
鈴木 正樹 教諭 総合教育センター  
和泉 俊宏 教諭 迫桜高等学校  
鈴木 千枝 教諭 白石工業高等学校  
平賀 玄太 教諭 巨理高等学校  
熊澤 啓子 教諭 仙台東高等学校  
千葉 千鶴 主事 東松島市立矢本西小学校  
西郷 純子 代替事務職員 新規採用  
西 大基 講師 新規採用  
黒木 舞 非常勤講師 新規採用  
平間 満里花 非常勤講師 新規採用  
松山 邦大 非常勤講師 新規採用  
藤田 稜介 非常勤講師 新規採用  
大石 彩乃 非常勤講師 新規採用  
松川 睦美 スクールカウンセラー  
佐藤 由美 臨時職員 新規採用  
畑山 拓哉 パート職員 新規採用



平成29年度 翔朋会一般会計 決算報告

平成29年 4月1日～平成30年 3月31日

- 1. 収入の部 2,296,468円
- 2. 支出の部 734,323円
- 3. 残 高 1,562,145円

1. 収入の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,112,000	1,108,000	▲ 4,000	2,000円×278人 卒業時入金 2,000円×278人 卒業時金費
年度会費	2,000	100,680	98,680	同窓生より振込
繰越金	1,087,780	1,087,780	0	前年度より
雑収入	220	8	▲ 212	預金利息
合 計	2,202,000	2,296,468	94,468	

2. 支出の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	6,900	▲ 58,100	
会議費	20,000	6,900	▲ 13,100	役員会お茶等
通信費	15,000	0	▲ 15,000	
需用費	30,000	0	▲ 30,000	
2. 事業費	1,597,000	527,423	▲1,069,577	
総会費	200,000	76,690	▲ 123,310	総会告知事掲載料他
会報費	700,000	169,081	▲ 530,919	会報印刷、HP管理委託
補助費	400,000	45,000	▲ 355,000	東北大会以上出場補助
記念品費	267,000	236,652	▲ 30,348	多高枚章バッヂ (H29入学生) 卒業証書ホルダー (H29卒業生)
慶弔費	30,000	0	▲ 30,000	
3. 予備費	340,000	0	▲ 340,000	
4. 繰り出し金	200,000	200,000	0	周年行事積立金として
合 計	2,202,000	734,323	▲1,467,677	

残 額 1,562,145円 次年度へ繰越し

平成30年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

- 1. 収入の部 2,641,000円
- 2. 支出の部 2,641,000円

1. 収入の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	1,076,000	1,112,000	▲ 36,000	2,000円×269人 卒業時入金 2,000円×269人 卒業時金費
年度会費	2,000	2,000	0	同窓生より振込
繰越金	1,562,145	1,087,780	474,365	前年度より
雑収入	855	220	635	預金利息
合 計	2,641,000	2,202,000	439,000	

2. 支出の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	65,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	役員会経費
通信費	15,000	15,000	0	切手代など
需用費	30,000	30,000	0	コピー用紙、ファイルなど
2. 事業費	1,565,000	1,597,000	▲ 32,000	
総会費	200,000	200,000	0	総会補助
会報費	475,000	700,000	▲ 225,000	会報発行・発送 610,000円 HP管理委託 65,000円 他
補助費	600,000	400,000	200,000	東北大会以上出場補助
記念品費	260,000	267,000	▲ 7,000	多高枚章バッヂ (H30入学生) 350円×280個=98,000円 卒業証書ホルダー (H30卒業生) 600円×269人=161,400円
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	811,000	340,000	471,000	
4. 繰り出し金	200,000	200,000	0	周年行事積立金として
合 計	2,641,000	2,202,000	439,000	

平成29年度 翔朋会特別会計 決算報告

- 1. 収入の部 3,024,663円
- 2. 支出の部 0円
- 3. 残 高 3,024,663円

1. 収入の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
繰入金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立 一般会計より繰入
繰越金	2,824,639	2,824,639	0	前年度繰越金
雑収入	361	24	▲ 337	預金利息
合 計	3,025,000	3,024,663	▲ 337	

2. 支出の部

平成29年度は事業なし

残 額 3,024,663円 次年度へ繰越し

監 査 報 告

平成29年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成30年 6月14日

監事 高橋 和人

監事 武田 三弘



平成30年度 翔朋会特別会計 予算書 (案)

- 1. 収入の部 3,225,000円
- 2. 支出の部 0円
- 3. 残 高 3,225,000円

1. 収入の部 (単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰入金	200,000	200,000	0	周年行事のための積立 一般会計より繰入
繰越金	3,024,663	2,824,639	200,024	前年度繰越し金
雑収入	337	361	▲ 24	預金利息
合 計	3,225,000	3,025,000	200,000	

2. 支出の部

平成30年度は事業なし

